

陳 情 書

令和 5 年 8 月 22 日

上越市議会議長 石田 裕一 様

「地域独自の予算事業」について、補助金制度を撤廃し、提案制度に一本化することを求める陳情書

1 陳情の趣旨

「地域独自の予算事業」について、補助金制度を撤廃し、提案制度に1本化することによって、市民にとって使い勝手がよく、また、公金を原資とするに相応しく、しかも、持続可能な施策であるために、実施要項を見直し再構築されることを求めます。

2 陳情の理由

「地域独自の予算事業」については、現行に適合する制度を後付けで設計した経緯が感じられます。そのため、補助金制度と提案制度を併用するという異例な建付けになっています。1事業2制度は、そもそも制度論として如何なものでしょうか。甚だ疑問です。

また、本事業の要衝は、地域の声を直接、予算編成に反映するところにあります。補助金制度は、団体の3割負担が重いため利用率の漸減は明白で、目的を達成する手段としての持続可能性について憂慮せざるを得ません。

以上の理由から、この際、補助金制度を撤廃し、提案制度に1本化することを求める陳情書を提出しました。

